

安心な水をいつまでも



2024年10月1日発行

第5号

古河市 水道課

検索



発行

古河市 上下水道部 水道課

〒306-0125 古河市仁連 1294-1

(三和浄水場内) ☎0280-76-3780

みずTIMES

古河市水道事業広報誌

南摩ダム 2026年度完成へ

古河市では、独立行政法人水資源機構が実施している南摩ダム建設（思川開発事業）に参画することを条件として、水道用水に思川の水を利用しています。ダム建設工事は、2024年度中の完成を目指して進められてきましたが、地下水路工事において、想定されていなかった地盤が出現したことにより、安全で確実な工事を進めるために工期の延長が必要になりました。これに伴い、ダムの完成予定が2026年度に延長されました。

南摩ダム工事とは

南摩ダムは、ダムとして適した山間エリアに本体を建設し、水が豊かな流域エリアにある河川を地下水路（導水路・送水路）でダム本体と繋ぐことで、水を融通する施設となっています。



黒川と大芦川の水が地下水路を通過してダムに貯まる仕組みです。

みずたろう Q&A



なぜ南摩ダムが必要なの？

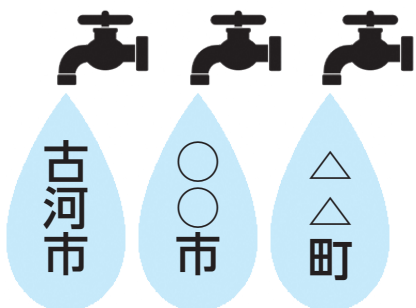
古河市の水道用水は、思川から取水しています。現在は、思川の水が豊富ときだけ水を利用できる不安定な状態です。（暫定水利権といいます。）しかし、間もなく南摩ダムが完成すれば、南摩ダム開発事業に参画している古河市は、異常渇水時を除いて、常に安定して水を利用できる権利（安定水利権といいます。）を取得し、今までよりも安全安心な水道サービスを提供できるようになります。

1

水道サービスの広域連携とは

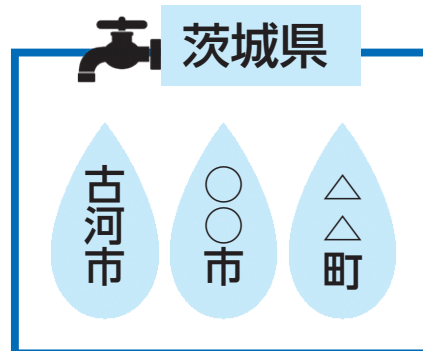
現在は市や町がそれぞれ水道サービスを運営していますが、その仕切りをなくして、市や町同士が一体になって運営しようというものです。茨城県で検討されている広域連携の手法は、「経営統合」といって、茨城県が経営主体となって各市町村の水道サービスを統合し、管理の一体化や浄水場の共同化により経営の合理化を図るものです。

現在の経営
(単独経営)



広域化

広域連携
(経営統合)



人口減少や水道施設の更新時期の到来に備え、全国的に検討が進められています。



2

広域連携を検討する理由

古河市の水道は 1970 年から 2000 年頃までに集中して整備され、浄水場や水道管が間もなく更新時期を迎えます。加えて、人口減少に伴う水道料金収入の減少も見込まれます。こうした課題に対し、**安全安心な水道サービスをできる限り低い料金で提供するための方策の一つ**として、他のまちとの協力によるコストの削減や国の補助制度が活用できる広域連携を検討しています。

古河市水道の課題

- 思川浄水場の更新
- 三和配水区域の水源切り替え
(地盤沈下を防ぐために地下水から思川の水へ切り替えし、思川浄水場から三和地区まで送水)
- 水道管の更新

広域化

広域連携のメリット

- 浄水場を複数のまちで更新、管理することでコストを削減
- 国交付金の活用 (浄水場や水道管更新費用の 1/3)
- 施設や給水車等の共同化による災害対応の強化

施設の更新には多額の費用がかかりますが、広域連携でコストを削減できる分、水道料金を低く抑えることが期待できます。



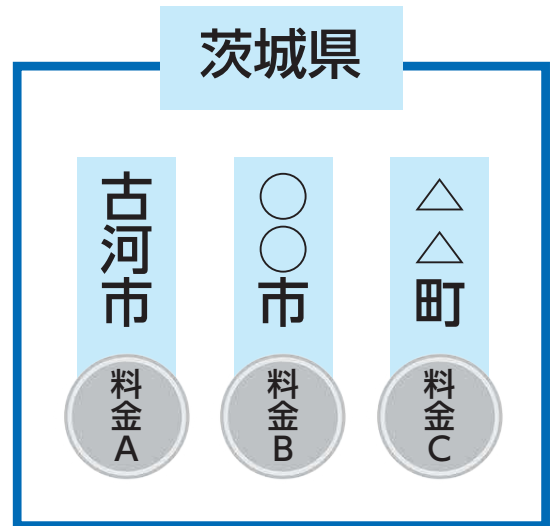
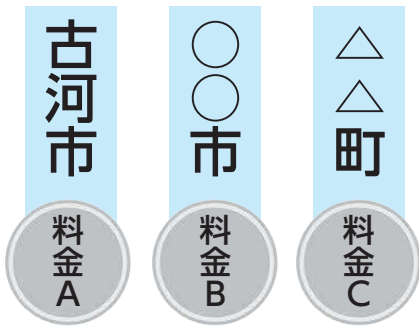


広域連携による水道料金の値上げはありません

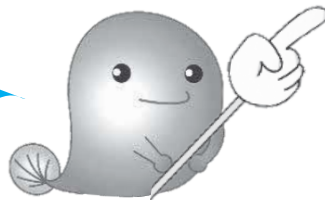
茨城県で検討されている広域連携では、各市町村の水道料金や会計は別々に管理されるため、他のまちとの水道料金の統一はありません。また、統合したまち同士で経営赤字を補てんすることはありません。

現在
(単独経営)

広域連携
(経営統合)



茨城県内において水道料金が安価な古河市が、他のまちに合わせるために値上げになることはありません。

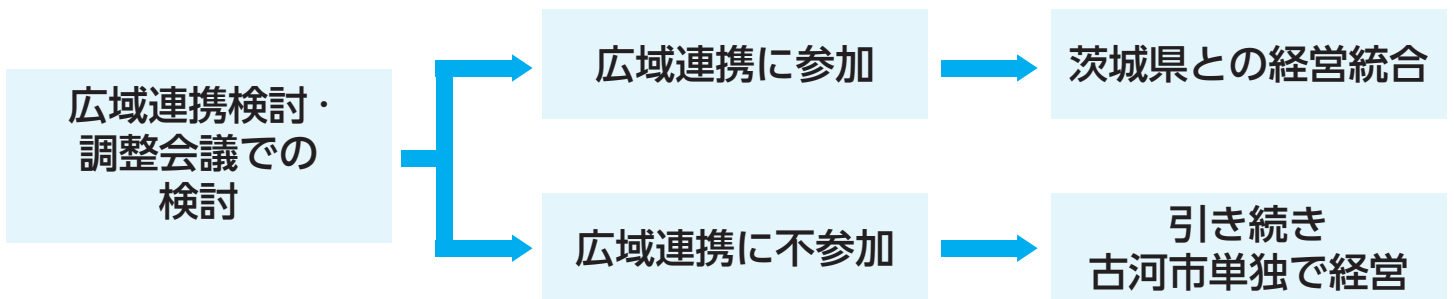


広域連携の見通し

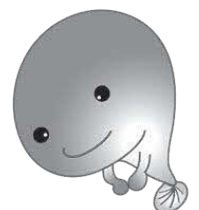
現在、関係団体で構成された「広域連携検討・調整会議」において検討が進められています。検討で明らかになるメリットとデメリットを踏まえ、2025年に広域連携への参加の有無を決定する予定です。

2024年

2025年



古河市では、よりよい水道サービスの提供と、安全安心な水をいつまでもお届けできるよう、慎重に検討を進めてまいります。



みずたろう日誌 vol.5

今回は、南摩ダムに関連して整備された施設をご紹介します。



古河市水道事業キャラクター
思川みずたろう

古河市も参画！

南摩ダム 周辺整備事業

ダムが建設されることで、周辺地域の生活環境が大きな影響を受けるため、その影響を緩和することを目的とした生活再建や地域活性化事業です。

Snow peak KANUMA Campfield & Spa

スノーピーク鹿沼 キャンプフィールド&スパ

2024年4月13日 誕生

〒322-0346 栃木県鹿沼市上南摩町字沢口1901

Tel. 0289-74-5964 (9:00 ~ 18:00)

営業時間 9:00 ~ 18:00 水曜日定休

※ホームページはこちら



広々としたキャンプフィールド

キャンプに必要な道具一式もレンタル可能で、「手ぶらでキャンプ」も楽しめます！この機会にキャンプデビューはいかがでしょう？



天然温泉の温浴施設

内湯、露天風呂、サウナを併設し、広々としたデッキスペースで外気浴も楽しめます。



充実したストア

地元産品やスノーピーク製品が購入できます。また、地域の地粉を使用したそば屋やこだわりメニューのカフェもあります。



香りとのど越しのよい蕎麦やサクサクの天ぷら
(上南摩そば 竜がい)



お肉と野菜がたっぷり詰まったハンバーガーは食べ応え◎
(日光珈琲6)

南摩ダム周辺整備事業では、この他にもダムの湖上を滑空する総延長約960mのジップラインの整備なども予定されていますので、お楽しみに！

